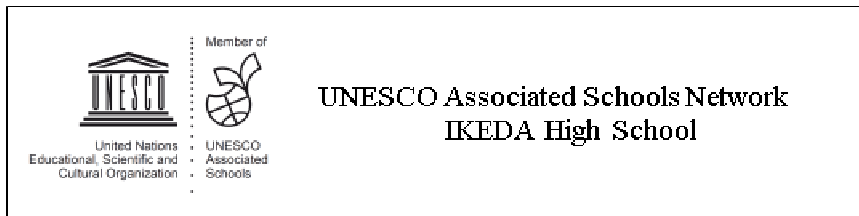


# 腰塚勇人先生講演「命の授業」を行いました。

**H28.2.9 於：池田高校体育館**



## 「命の授業～今の幸せに気づくことから夢はひろがる～」

平成28年2月9日（火）、腰塚勇人（こしづか はやと）先生を講師にお招きし、本校の3年生157名を対象に、本校体育館において、「命の授業」の講話をいただきました。

先生が高校時代に教師を目指すようになった理由、首の骨を折り首から下が動かなくなったときの思い、そこから立ち直って、学校に復帰し卒業生を送り出したこと…。それら数々の経験の中から、先生が掴み、感じ取り、皆に伝えたいことや願いが、言葉になって溢れてきました。

「口」は、人を励ます言葉や感謝の言葉を使うために使おう。

「耳」は、人の言葉を聴いてあげるために使おう。

「目」は、人のよいところを見るために使おう。

「手足」は、人を助けるために使おう。

「心」は、人の痛みがわかるために使おう。

…

朝から雪が降る底冷えのする体育館での講話でしたが、先生の話に生徒たちは、時には笑顔で、時には涙を流しながら100分に及ぶ講話を真剣に聞きました。

講演会の最後に、3年2組の高橋友也君が生徒を代表してお礼の言葉を述べ、講話の感動と一期一会をかみしめて、先生とハグを交わしました。

＜生徒代表お礼の言葉＞ 3年2組 高橋 友也 君

「本日は、お忙しい中、僕たちのためにご講演をいただきありがとうございました。

僕は先生のお話を聞いて、「人は1人で生きているのではなく、周りの人に支えられて生きている」ということを強く感じました。腰塚先生が、怪我から必死の思いで復帰された時と同じように、僕を支えてくれる人々がたくさんいます。悩んだ時、困った時に支えてくれた仲間、家族、先生方がいてくれたからこそ、僕は今こうして生活できています。

今後は、周りの人への感謝の気持ちを大切に、日々過ごしていきたいですし、支えられる立場から、多くの人を支えられるような立場になっていきたいと思えます。

本日は、貴重なご講演をありがとうございました。」



### <講演後の生徒の感想文から>

- 腰塚先生の話聞いて私も「ドリー夢メーカー」になりたいと思った。相手の気持ちをしっかり考えて、困っている人がいたら手を差し伸べてあげたいと思った。絶対にドリー夢キラーにならないようにしようと思ったし、自分がされて嫌な思いは絶対にしないようにしようと思った。新しい春から始まる生活でも気をつけていきたい。この講話を聞くことができて良かった。
- 命があることによって、当たり前に行えることがたくさんあるという事が分かりました。私は介護士を将来目指しているの、腰塚先生が首の骨を折った時の看護師のように患者の立場になって考えられる人になりたいと思いました。
- 誰にでも支えてくれる人がいることを改めて知ることができました。命があって今があるので、この瞬間を大切に生きていきたいです。当たり前だと思わず感謝して、感謝を伝えながら過ごしていきたいです。
- 生きることがどれだけ幸せかということ学びました。大切なものを失って、生きる希望を失ったとしても、自分を守ってくれる、助けてくれる人がたくさんいることを。また、自分は決して一人じゃないということ、助けてくれる人は必ずいるという言葉にとっても感動しま

した。ドリー夢メーカーという名前、とても素敵だなあと思いました。

- 2回目（平成27年10月22日の福祉講演会に参加）の腰塚先生の話だったけど、何回聞いても心に響くし、今までの自分にくぎを打たれるような感じでした。今までも今でも、ちゃらんぼらんでしかなかった自分がいて、親に何を言われても無視で、何も聞かなくて、怒られてばかりで、全然だめでした。今では就職場所が決まっています、今まで支えられきた分、今後は、支える側としてその就職先にしました。それが介護です。生活の支援、もう一度自立できるように支援することが仕事です。それに責任を持って勤めたいと思います。腰塚先生のお話を聞いて、より一層人の支えになりたいと思いました。その思いを私たちに送ってくれて、伝えてくれて、ありがとうございました！

#### ■腰塚勇人（こしづかはやと）先生のプロフィール（オフィシャルサイトより）

1965年 神奈川県生まれ。元・体育教師・養護学校教員。

スキーでの大事故をきっかけに、全身マヒの体に。その後、懸命のリハビリにより社会復帰できるまでに回復し、事故をきっかけに人生も人生観も大きく変化。

2010年3月 教職を辞し、現在は「命の授業」の講演を通して命の大切さを訴えている。

2010年5月 ダイヤモンド社より『命の授業』出版。  
2010年7月 フジテレビ系「奇跡体験アンビリバボー」に出演。2012年2月 PHP 研究所より『感謝の授業』出版。

私、腰塚勇人は、中学校でバスケットボール部の顧問をはじめとして、生徒たちの教育・指導に一生懸命打ち込む「熱血教師」でした。そんな熱血教師の私にある日、人生を大きく変える出来事が起こりました。

2002年、スキー中に大転倒、頸椎（首の骨）骨折という大ケガをしてしまったのです。4時間の手術の末、

奇跡的に命はとりとめたものの全身が動かない深刻な麻痺状態になり、あまりの絶望に私の心は深く沈みました。そんな私を救ってくれたのは、妻や両親、同僚の先生や生徒、病院のお医者さんや看護師さん、そして周りの人達でした。そうした人達の応援と励ましを受けて、私の心も再び動き始めました。

入院生活やリハビリでは、様々な紆余曲折を経ながらも自分の命があらゆるものに「助けられ、生かされている」ことに気づきました。その気づきをきっかけとして、奇跡的にも回復に向かい、4ヶ月の入院・リハビリの後、職場復帰を果たしました。この間、私の見方・考え方・感じ方は大きく変わりました。そして人生も一変しました。復帰後は、身体の一部に障がいを抱えながら、感謝と共に生きようになりました。入院・手術・リハビリ・職場復帰と一つ一つのプロセスを経ながら、自分を受け止め、受け入れ「5つの誓い」へたどり着きました。

現在は教員を卒業し、命の大切さ、生きていることの素晴らしさ・両親・家族・仲間の大切さなど、普段の生活の中で当たり前と感じ、忘れかけている大切な幸せについて、また、皆様が誰かを



照らす存在であることを、講演や著書を通じてお伝えしていきたいと願っております。

- ◆「命の授業」腰塚勇人オフィシャルサイト <http://www.inochi-jyugyo.com/>
- ◆「命の授業」ブログ <http://ameblo.jp/inochi-jyugyo/>